

同時資料提供

関西プレスクラブ、京都府政記者クラブ、
京都市政記者クラブ



ダイバーシティズン

住所: 枚方市長尾谷町 2-3-1-309

HP: <http://divercitizen.org>

プレスリリース

2015年7月16日発信

報道関係者各位

新しい政策提言ツールを体験！観客参加型「演劇」と「政治」のコラボ！

Future Democracy Session 「僕らの民主主義」 vol.5

～観客の参加でストーリーを変える劇・フォーラムシアター×政治の可能性～

問題が起こって、解決しないまま終わってしまう劇。途中で、観客が「ちょっと待った！」と手を挙げる。その観客が舞台上に上がって、登場人物に成り代わって、解決に向けたアイデアを行動に移す。他の役者は、流れを変えられないように動く。果たして流れを変える解決策は見つかるのか…？

そんな、観客を「受け身の存在」から「主体的に行動を起こす人」へと変える演劇。それが「フォーラムシアター」です。創始者のブラジル人、アウグスト・ポアールは、軍事独裁政権下の1960年代、当初は観客を煽るような「アジテーション・プロパガンダ演劇」を行っていました。しかし、やがて一方的にメッセージを伝えることに限界を感じ、観客たちが自ら解決策を模索して変えていくための対話のツールとして演劇を活用するようになりました。

フォーラムシアターをはじめとする一連の手法は「被抑圧者の演劇」と呼ばれています。80年代にポアールはリオデジャネイロ市議員になり、市内のさまざまなコミュニティで、人々が直面するリアルな問題をテーマにフォーラムシアターを行いました。そこで導き出された解決策を、議員としての権限を活かして、必要に応じて条例案にまとめる「法律制定演劇」という取り組みも行い、いくつかは条例として実現しました。フォーラムシアターは世界中へ広まり、行政や議会に働きかける政策提言のためのツールとしても活用されています。

<企画概要>

日時: 8月9日(日) 14時スタート 17:00 終了

会場: かげのね 多目的スペース

京都市左京区田中下柳町 7-2

対象: 政策対話や課題解決の手法に関心のある方

定員: 20名

参加費: 1,000円

<プログラム>

・フォーラムシアターや、ポアールと「被抑圧者の演劇」について簡単なレクチャー

・「参加する観客」になるためのウォーミングアップ

・ミニ・フォーラムシアター体験

・対話: どんな「問題」を「フォーラムシアター」で扱ってみたい？

<プロフィール>

■松田裕樹 身体でイメージを形にするワークショップ主宰

対話のツールとして身体で表現することで、右脳が刺激され、新しい発見・発想につながりやすいワークショップを関西を中心に開催。

HP: <http://kimochi-pose.jimdo.com/>

<主催団体概要> ダイバーシティズン(任意団体)

『社会をつくるワクワクを政治から』をモットーに、若者が政治・民主主義をみつけ、ふれて、やってみる機会づくりをしています。

【プロジェクト】FDS「僕らの民主主義」、市長選挙ゲーム「MAYOR シリーズ」、政治(主権者)教育の開発等。 HP: <http://divercitizen.org>

<本件に関するお問い合わせ>

広報担当者名: 竹之下惟基(ダイバーシティズン代表)

TEL: 090-4289-6984(竹之下) E-mail: info@divercitizen.org